

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公表番号】特表2000-510858(P2000-510858A)

【公表日】平成12年8月22日(2000.8.22)

【出願番号】特願平9-541562

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/575

A 6 1 P 35/00

【F I】

A 6 1 K 31/575

A 6 1 K 31/00 6 3 5

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月6日(2004.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 4月 6日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第541562号

2. 補正をする者

氏名(名称) ノバルティス アクチエンゲゼルシャフト

3. 代理人

住所

〒540-0001

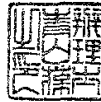
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル

青山特許事務所

電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

万式
審査

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り

(別紙)

請 求 の 範 囲

1. 腺腫または微小腺腫を発生する危険性のある哺乳動物における結腸腺腫または結腸微小腺腫の少なくとも一方の発生率を減少させるかまたはこれらを予防する、または哺乳動物における糞便中デオキシコール酸を減少させるための、6-フルオロウルソデオキシコール酸(6-FUDCA)、医薬的に許容される6-FUDCAの塩、および医薬的に許容される6-FUDCAの抱合体からなる群から選択された有効成分を含んでなる医薬組成物。
2. 腺腫または微小腺腫を発生する危険性のある哺乳動物における結腸腺腫または結腸微小腺腫の少なくとも一方の発生率を減少させるかまたはこれらを予防するための、6-フルオロウルソデオキシコール酸(6-FUDCA)、医薬的に許容される6-FUDCAの塩、および医薬的に許容される6-FUDCAの抱合体からなる群から選択された有効成分を含んでなる、請求項1に記載の医薬組成物。
3. 哺乳動物における糞便中デオキシコール酸を減少させるための、6-フルオロウルソデオキシコール酸(6-FUDCA)、医薬的に許容される6-FUDCAの塩、および医薬的に許容される6-FUDCAの抱合体からなる群から選択された有効成分を含んでなる、請求項1に記載の医薬組成物。
4. 哺乳動物が、家畜、家庭のペット、およびヒトから選択される、請求項1～3のいずれかに記載の組成物。
5. 哺乳動物がヒトである、請求項1～3のいずれかに記載の組成物。
6. 有効成分が遊離6-FUDCAである、請求項1～5のいずれかに記載の組成物。